

## 《アンケート調査》

テレビの健康情報、信用しますか？

### ■ 調査目的:

「発掘!あるある大事典」というテレビ番組でデータを捏造して放送していたという事件が起きました。それはあってはならないことですが、一方、「納豆を食べるとやせる」などというあやふやな情報を信じて、納豆を買いに走った人がおおぜいたということも、驚くべきことでした。ベターホーム協会は料理教室で栄養に関することも教えています。そのため今後の活動に役立てるために、消費者は今回の事件をどう思ったのかを調査しました。

### ■ 調査対象:ベターホームの料理教室を受講中の20～60代の女性408名

年代構成

年代	全体	20代	30代	40代	50代	60代
人数	408	40	144	76	91	57

■調査地域:東京 大阪 名古屋 札幌 福岡

■調査時期:07年3月

■調査方法:料理教室でアンケート用紙を配布し、その場で記入してもらいました。

(財)ベターホーム協会

150-8363 東京都渋谷区渋谷1-15-12

※以下、数字はすべて%。無回答者の数字は入れていません。

※回答比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならないことがあります。

1. 「発掘!あるある大事典」というテレビ番組で「納豆を食べるとやせる」という放送の中で使用されたデータが捏造であることが発覚しました。あなたはこの番組がもとで納豆が品切れになる事態になっていたことは知っていましたか？

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①知っていた	84.3	80.0	79.9	83.4	85.7	93.0
②知らなかった	15.7	20.0	20.1	16.6	14.3	7.0

2. 「知っていた」と答えた方は何で知りましたか？ ひとつだけ○をつけてください。

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①「納豆が売れている」というマスコミの報道で知っていた	35.2	31.3	27.0	41.8	37.7	43.4
②番組は見ていないが、家族や友人に聞いたので知っていた	27.9	37.5	33.9	26.9	18.2	24.5
③店頭で納豆が売れているのを見て知っていた	24.1	21.9	30.4	14.9	27.7	22.6
④実際にその「発掘!あるある大事典」を見たから	12.8	9.3	9.6	16.4	17.2	9.4

- 「納豆を食べるとやせる」という放送内容は、データ捏造が発覚する以前に84.3%と、かなりの人に知られていた。
- しかし、直接「発掘!あるある大事典」を見た人は12.8%にすぎない。多くの方は「納豆が売れている」という報道や、口コミで知ったのが実態。2次的な報道や口コミで広がった様子がみられる。

3. 「納豆を食べるとやせる」と信じましたか？ ひとつだけ○をつけてください。

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①どちらとも言えない	51.2	67.5	49.3	57.9	45.1	45.6
②信用できないと思った	34.1	15.0	31.3	30.3	40.7	49.1
③信じた	13.2	17.5	18.1	11.8	11.0	3.5

- 20代、30代のほうが信じた人の比率がやや高い。若い人のほうが鵜呑みにしやすいのか？
- 20代は「どちらとも言えない」という人も多く、あまり判断の根拠となる知識を持っていないということもあるのかもしれない。
- 「信用できないと思った」と番組の内容を疑っていた人は50～60代に多い。

4. 信じた、という方は何が要因だったと思いますか？ いくつでも○をつけてください。

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①実験のデータがあったので信用した	66.7	42.9	61.5	100.0	70.0	50.0
②テレビで間違った情報を放送するとは思っていなかったから	46.3	71.4	50.0	33.3	30.0	50.0
③学者が言うのだから信用した	31.5	100.0	26.9	22.2	10.0	0.0

- 一番強いのが実験データ。数字で見せられれば、まさかそれが捏造データだとは思わないから素直に信じてしまうのもいたしかたないかもしれない。
- ここでも20代は「テレビで間違った情報を放送するとは思っていなかった」「学者が言うのだから信用した」と答えた人が他の年代に比較して際立って多く、放送の内容を疑わない傾向が見られる。テレビの内容を批判的に見るということがないのかもしれない。

5. ご自分も含めて身の回りで実際に納豆を食べてやせようとした人はいましたか？

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①いた	31.9	40.0	40.3	35.5	23.0	14.0
②いない	65.7	57.5	57.6	63.2	75.8	78.9

- 全体では約3割の人が「納豆でやせようとした人を知っている」と答えている。はっきりとした人数はわからないが、おおぜいの人が納豆でやせようとしたようだ。

6. これまでに「体によい」とテレビで報道された食品を購入して食べたことはありますか？ その食品は？

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①ある	54.4	55.0	58.3	53.9	57.1	40.4
②ない	43.1	42.5	39.6	46.0	40.7	52.6

- 半分以上の人が購入したことがあるという。テレビの影響力はかなり強い。しかも60代以外は各年代とも同じような数字なので、この行動は年代には関係ないらしい。

\*購入して食べたことがあるものランキング

①寒天	②ヨーグルト	③豆乳	④ココア	⑤にがり
⑥きなこ	⑦ごま	⑧納豆	⑨黒酢	⑩高野豆腐

- 何を買ったかはさまざま約80品の名前があがったが、上位10位までが上の表。

7. あると答えた方は今でも継続していますか？

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①継続していない	71.6	72.7	77.4	65.9	71.2	60.9
②継続中	24.8	22.7	17.9	26.8	25.0	39.1

**\*食べるのをやめた理由は？(自由記入の中から主なもの)**

あきた／続かない／毎回だと食べたくなくなる／効果がなかった／めんどうになった  
 ／偏食になってしまうから／なんとなくやめた／食べるのを忘れる／通常の食事以外に食べるのはつらい／おいしくなかった／ブームが去ったから

- 70%前後の人は継続していないという結果に。
- 継続しなかった理由を見ると、納得できる答えが並ぶ。「あれが効く！」と一時的に殺到しても、同じものばかり食べられないので結局、続いていないのが現実のようだ。

9. 今回の「発掘!あるある大事典」の事件を見てどう思いましたか？ いくつでも○をつけてください。

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
①専門家のコメントやデータを数字で見せられれば視聴者が信用するのはやむをえない	53.0	62.5	57.6	47.4	56.0	31.6
②健康情報をうのみにして行動する視聴者にも問題がある	49.0	38.9	38.9	60.5	58.2	50.9
③安易な捏造をするテレビ局に怒りを感じる	38.8	25.0	34.0	36.8	49.5	42.1
④これからは、テレビの情報番組はあまり信用しないことにする	12.9	22.5	12.5	5.3	15.4	7.0

- 40代以上は「②健康情報をうのみにして行動する視聴者にも問題がある」と思っている人が多い。①の視聴者に同情的な見方や、③のテレビ局に対する怒りよりも、テレビの健康情報を信じ込んで、行動する視聴者に問題があるという厳しい見方だ。
- 対するに20代、30代は①に重点があり、視聴者に問題があると思う人は少なく、20代はテレビ局に対する怒りも少ない。
- ④と答えた人は少なく、データ捏造は「発掘!あるある大事典」固有の問題としてとらえ、テレビ全体のことでないと冷静に考えているようだ。

## まとめ

- ・「発掘!あるある大事典」が放送した「納豆を食べるとやせる」という情報は、84.3%とかなり高い割合で知られていた。
- ・しかし、実際にその番組を見ていた人は12.8%にすぎず、ほとんどは「納豆が売れている」という報道や、口コミで知っていた。もし、正しい内容であったとしても、2次的な報道等で広がった場合は内容が増幅されたり、ゆがんだりすることが考えられ、危険性をはらんでいる。
- ・納豆売り場から納豆が消えた、などとセンセーショナルに報道されたので、あたかも多くの人々がそれを信じて行動したかのように見えるが、実際には「信用した」人は13.2%、「信用できないと思った人」は34.1%と、信用しなかった人のほうが多い。マスコミで増幅されることがあるので、報道だけで判断するのではなく、自分自身で判断することが大切だ。
- ・ただ、51.2%の人は「どちらとも言えない」と判断ができない状態だった。「納豆を食べるとやせる」ということは常識的な栄養知識があればまず疑ってかかるはずの内容なのに、これだけ多くの人があやふやということは、まだまだ栄養の基礎知識が不足している人が多いということだろう。
- ・また、今回の事件について40代以上の女性の50~60%は「健康情報をうのみにして行動する視聴者にも問題がある」と答え、テレビの健康情報に右往左往する人に対して批判的だった。
- ・しかし、にもかかわらず全体の54.4%の人がテレビで体によいと放送された食品を購入した経験があると答えたのは、矛盾がある。  
しかも、そのうち71.6%は食べるのをやめてしまっている。理由はあきた、毎日食べ続けるのは無理といったもの。その時々でたとえ飛びついたとしても、一過性のもので終わっているのが現状のようだ。
- ・「人のことは批判するが、体にいいと聞けばついつい自分も買ってしまう。でも、結局長続きはしない」というのが、平均的な姿なのかもしれない。
- ・20代、30代の女性は放送の内容をうのみにする傾向がみられた。それは、栄養知識の欠如のために、判断力がないということもあるのかもしれない。部分的な情報に流されないために、ある程度の知識は持つようにしてほしい。

以上